

前日までの雨も受講者の熱意におされ晴天となり、26名の防災士が参加しました。座学は、チェーンソーの使い方の基本を実物を見ながら、各部の名称や使用上の注意事項、点検箇所、服装、安全確認など真剣な眼差しで学びました。

実技編では、実際山に入り、伐採の神事後、専門家の指導により立木の伐採作業を体験しました。裏山の立木の前に立ち、倒す方向を決め、受け口を作り追い口とつるの残し方で倒れる、微妙な関係も学びながら貴重な実体験をしました。

参加された皆さん、それぞれに手ごたえを感じながらのチェーンソー作業に、満面の笑みと安堵感がみなぎっていました。今後の活躍に期待大です。



真剣に取り組む女性会員



プロの手ほどきを受ける会員



晴天に恵まれ実際山の中で貴重な立木の伐採作業を体験！！参加された皆さん大変お疲れさまでした。

終了後、希望者のみ能登半島地震被災地の現況について、映像を見ながら旭顧問の報告を受けました。

現地の悲惨な状況を理解、自分には何が出来るか？真剣に考える端緒となりました。

そのあと臨時の役員会を開催し、被災地支援について協議しました。

☆防災士のための気象講座！！《今回9回目》長崎地方気象台のご協力に感謝！

日 時:令和6年3月9日(土) 13:00~16:00

場 所:長崎地方気象台 (3階会議室)

参加者:20名

防災士の資質向上のために全国の防災士会県支部が、地元気象台との緊密な関係構築のため東奔西走している昨今ですが、長崎県支部はすでに9回目の講座を開催していただきました。長崎地方気象台を挙げてご協力いただきますことに本当にありがたく心より感謝申し上げます。

現在の多発する甚大な自然災害は地球温暖化が大きく関係していると言われております。災害に備えるには、正しい情報を取得しなければなりません。私たちは気象に関する正確な知識を習得し活動に活かすために、気象台との協力関係を更に強化し絆を深めましょう。

